

令和3年度
(2021年度)

学校自己評価報告書

学校法人 赤門宏志学院

赤門鍼灸柔整専門学校

1. 教育の理念及び教育目標

1) 建学の理念と沿革

赤門鍼灸柔整専門学校（以下「当校」という）は、昭和22年（1947年）4月に宮城県知事の認可を得て仙台市青葉区大町二丁目に設立した。「東洋医学を社会に普及し、国民の医療福祉において社会に寄与する」ことを建学の理念として掲げ、昭和22年12月に関係法（法律第217号）が制定され、按摩マッサージ指圧、鍼灸及び柔道整復の養成教育は、厚生大臣の認定を得た養成学校で行うことが制度化され、当校は全国に先駆けて昭和23年12月に厚生大臣の認定を受けた。

昭和24年（1949年）4月、設置法人である財団法人「赤門学志院」を設立し、学校運営体制を整備している。その後、財団法人を学校法人に切り替え、平成25年（2013年）3月に宮城県に認可されて学校法人「赤門宏志学院」を設立し、平成29年8月に仙台赤門短期大学看護学科（以下「短大看護科」という）の設立認可を受けることにより、同学校法人の認可官庁は文部科学省になる。

学校法人の名称の由来は、先代の理事長が昭和16年（1941年）4月仙台に開業したとき、屋号のように「赤門」と名づけ、その後、校名に「赤門」を冠した。学校法人名では、前法人名の「赤門学志院」のうち「赤門」と「志」を取り入れて「宏志」（志がひろくおおきくすぐれているの意：漢字文化圏においては文化・教育面の用語として使用されている）と命名したものである。

当校は、東洋医学を社会に普及するため定員を増加することにより、昭和32年（1957年）4月に仙台市青葉区川内川前丁に新校舎を建築・移転し、その後、将来の発展のため広い校地を求めて仙台市青葉区荒巻青葉に昭和58年（1983年）8月に現校舎を建築・移転している。更に臨床教育を重視した建学の理念を実施させるため、平成19年（2007年）4月に仙台市青葉区国分町に上級課程である「臨床教育専攻科」と「臨床治療所」の校舎を整備した。卒業生のうち約70%が教員として勤務経験（勤務中のものを含む）を有している。

平成27年（2015年）2月、専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とした「職業実践専門課程」として、文部科学大臣より鍼灸指圧科・鍼灸科第一部・鍼灸科第二部・柔道整復科・柔道整復科第二部が認定された。令和2年（2020年）4月から、文部科学省の「高等教育の修学支援制度」の受入れ校となるべく、教育環境の整備を行った。設置学科の人材育成は、社会のニーズに応じて取り組み、学校運営は選択して集中させて行う状況にあるとして、鍼灸指圧科・鍼灸科第二部・柔道整復科の3学科とし、「柔道整復科」を「柔道整復医療科」に、翌年には「鍼灸指圧科」を「鍼灸マッサージ東洋医療科」、「鍼灸科第二部」を「鍼灸医療科第二部」に学科名を変更した。

以上のとおり、設立以来74年にわたり、建学の理念に基づき教育目標を打ち立て有為な医療人を社会に送り出すために、学校教育において取り組んできている。

2) 教育目標

基礎医学を基本とした東洋医学の知識と技術を深く教授し、その知識・技術の練達を計り、人格をともなった有為な医療人を養成し、国民の保健福祉に貢献するとともに、東洋医学・伝統医学を普及して社会の進展に寄与することを使命とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 入学者確保に向けた取り組み。
- 2) 国家試験の新卒者の合格率を向上させる取り組み。
- 3) ボランティアによる課外活動を含む臨床教育の再開。
- 4) 退学者を出さないために、学生をサポートする取り組み。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1
①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
②学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・ 関係業界・保護者等に理解されているか	4 ③ 2 1
③学校における職業教育の特色が定められているか	④ 3 2 1
④社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
⑤各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

(1) 実施状況

- ①学校の理念・目的・育成人材像は、従来から定められており、「学則」及び「学生便覧」や入学案内パンフレットに記載されている。
- ②学校の理念等の周知指導は、学内では入学式や卒業式での学校長からの式辞・新年度オリエンテーション(「学生便覧」を配布・説明)・各種行事での挨拶・授業内において行っている。学外に向けてはホームページ・入学案内パンフレット・オープンキャンパスを通して発信している。
- ③按摩マッサージ指圧師、鍼灸師、柔道整復師(以下「鍼灸師等」という)が行う東洋医学・伝統医学の業務に関しては、医師が行える業務であると法律で定められているので医療行為であり、国家資格であるという視点に立ち、医療人に必要な資質である、自主・参画・奉仕・協力・貢献を教育目標にして自信と誇りを持つように学生を指導している。

④⑤

徐々に社会普及してきたとみられる東洋医学・伝統医学が、社会や業界のニーズへ対応するためには、より一層質の高い職業教育専門課程として位置づけられる「職業実践専門課程」に認定される必要があると考え、平成27年(2015年)2月に鍼灸指圧科、柔道整復科、鍼灸科第一部、鍼灸科第二部、柔道整復科第二部の5学科が文部科学大臣から「職業実践専門課程」として認定された。

(2) 課題

- ②学校の理念等の周知に努めているが、コロナウイルス感染症拡大による行事の中止・規模縮小、授業内で繰り返しの指導までは出来ていないこともあり、学生・関係業界・保護者等に浸透しているとは言い難いところがある。
- ⑤近年の業界のニーズとして、特に医療人としての倫理教育が重視されている傾向にある。建学の理念に基づく教育目標は明確にしているが、成績面で問題となる学生を中心に医療人としての倫理観が備わりきれいなように思われる。

(3) 今後の改善方策

- ②学校の理念等について、学内に対してはオリエンテーションなど様々な機会に周知すると共に、授業を通して教員が定期的に指導する。学外に対してはホームページを中心に提示できるようにし、現在よりも周知しやすいように努力する。
- ⑤附属治療所（国分町校舎）や課外ボランティア活動で患者と接することや、各種関連団体が主催する研修会や学術大会での学びを通じて、医療人となることを自覚させ、授業においても医療倫理を周知する。また、業界のニーズを再度確認し、教育課程編成委員会での意見を聞き、取り入れられる点は積極的に採用する。

2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不十分… 2、不十分… 1			
	①建学の理念・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
③運営組織や意思決定機能は、規則・指示系統において明確化されて、有効に機能しているか	④	3	2	1
④人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
⑤教務等の組織整備など意思決定の組織体系は整備されているか	4	③	2	1
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

(1) 実施状況

- ①建学の理念・目的等に沿った運営方針の策定を行っている。
- ②運営方針に沿った事業計画の策定を行っている。
- ③運営組織は、学則等において明文化している。
- ④人事・給与に関しては、就業規則等で規定している。
- ⑤組織整備・校務分掌を各職員に明示している。
- ⑥教職員に対し法令順守を周知している。
- ⑦教育活動等に関する情報をホームページで公開している。
- ⑧学校運営や教育に係る情報等をコンピューターで管理・活用し効率化を促進するために昨年9月にシステム(infoClipper・Google Classroom)を導入し、活用を開始した。

(2) 課題

- ⑤教務等における意思決定システムを明確化する必要がある。
- ⑧高度化した情報システムに精通した人員を養成中であり、引き続き人材の育成や確保が必要である。また、導入したシステム(infoClipper・Google Classroom)は、運用開始初年度のため使い慣れるには時間を要する。

(3) 今後の改善方策

- ⑤業務を整理・細分化し、教職員で問題点を共有できるようにする。
- ⑧導入したシステム(infoClipper・Google Classroom)を活用して、学校運営にかかる業務効率向上・負担軽減を図る。

3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不十分… 2、不十分… 1			
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
⑥関連分野における実践的な職業教育（産学連携による実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
⑧職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
⑫関連分野における業界等との連携において、教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
⑬関連分野における伝統を踏まえた現代に適応する知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

(1) 実施状況

- ①教育課程の編成・実施方針は、修業年限に対応した教育到達レベル、学科等のカリキュラムは体系的に編成され、インターネット上で公開し、シラバスを学生に配布している。教育課程編成委員会による意見も参考にし、授業に反映している。また、大学教員・医師による専門的な授業も数多く導入している。
- ②例年、職業教育の視点に立ち、附属治療所（国分町校舎）において臨床実習を第1学年から教育到達レベルに分けて指導を行っているが、本年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかった。そのため、青葉山本校舎において基礎学習・応用学習に分けて実施した。柔道整復医療科においては、超音波画像観察装置による実践的な職業教育を実施している。

③⑤⑥

カリキュラムに関しては、教育課程編成委員会を年2回開催し、実践的な職業教育や関連業界団体等との連携へ対応できるように作成・見直しを行っている。

- ④関連分野における実践的な職業教育のため、教員資格を有する治療院開業者・勤務者を実技科目担当の講師(非常勤)として採用して実践的な指導をしている。
- ⑦授業や定期試験の評価点検は、全教科において前期及び後期の最終授業で行っている。また、学生から教員に対する授業評価を導入している。
- ⑧職業教育に関する外部評価として、鍼灸関係学科では(公社)東洋療法学校協会による統一模擬試験と実技認定試験を、柔道整復関係学科では(公財)柔道整復研修試験財団による認定実技審査をそれぞれ第3学年で実施している。
- ⑨成績評価・単位認定等の基準は、学則・試験実施要項に明記し、教職員に周知している。学生に対しては、学生便覧・試験実施要項で周知している。
- ⑩基礎科目の「履修免除制度」を取り入れ、大学・短大・高専の卒業社会人において、既修の基礎科目について免除している。
- ⑪関連分野における先進的な医療・教育・教養など知識・技能等を修得するため、(公社)東洋療法学校協会及び(公社)全国柔道整復学校協会の教員研修会、業界の学術大会等へ積極的に参加し、資質の向上に努めている。本年度はコロナウイルス感染症拡大の影響によりオンラインにて参加した。
- ⑫令和2年度末現在、当校の教員のうち、勤務しながら関係する大学院へ進学してきた者の数は、修士課程6名(在学者1名、修了者5名)、博士課程3名(修了者3名)となっている。
- ⑬年度毎の教員研修会・学会への参加による知識・技術等の修得をし、資質の向上に努めている。
- ⑭11月に第3回日本伝統医療看護連携学会がリモートで開催され、これに協力するとともに、教員を参加させ能力開発に努めた。

(2) 課題

- ④授業時数や内容は関係法令を遵守して編成・実施しているが、キャリア教育・実践的な職業教育が難しくなっている。
- ⑦学生からの授業評価を実施し、常勤教員に還元はしているが、外部講師への還元は、まだ十分でない。
- ⑬初年時教育など更なる研鑽が必要である。

(3) 今後の改善方策

- ④コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できていない附属治療所(国分町校舎)における臨床実習や関連の業界団体と連携した学外の治療所における臨床実習を活用し、キャリア教育・実践的な職業教育に繋げる。また、卒業生の仕事紹介、業界団体・メーカー・治療院のセミナーを増やして、キャリア教育を充実させる。
- ⑦学生からの授業評価について、外部講師にも還元する。
- ⑬学生の多様化に対応できるよう、関連分野以外の講習会等にも積極的に参加するとともに、学内の研修会を強化して教員の資質の向上に努める。

4) 学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不十分… 2、不十分… 1			
①就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
②資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
③退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
④在校生・卒業生の社会的な活躍及び評価を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

(1) 実施状況

- ①多数の卒業生や企業からの求人は多く、在校生・卒業生向けの求人情報の掲示及び個別相談等を就職担当者や教員により実施している。また、外部講師による就職関連・業界の情報発信をしている。
- ②資格取得 100%を目標として、第3学年では学外の（公社）東洋療法学校協会主催の「全国統一模擬試験」（あん摩マッサージ指圧師、はりきゅう師国家試験模試）への参加、学内の国家試験対策実力試験（鍼灸関係学科は年間4回（新年度試験を含む）、柔整関係学科は年間8回）、国家試験前の模擬試験（鍼灸関係学科は7回、柔整関係学科は2回）を行っているほか、国家試験出題教科の補習教育を実施している。また、第1・2学年における成績不良者に対して、授業外で補習教育を実施している。
- ③各クラス担任が学生の成績・出席状況を把握して、個別相談・生活指導を行い、必要に応じて保護者を含めた三者面談を行っている。
- ④卒業時に就職状況調査を実施し、卒業段階の進路を把握している。また卒業生と交流や情報交換などを行い、その社会的な活躍について把握している。更に卒業生から在学中の心構え・国家試験対策・就職活動・就職後について等を在校生に報告する場を設けている。

(2) 課題

- ②③学習意欲の低下や対人関係での悩みから勉強に集中できない学生の資格取得率・退学率に関して適切に対応できないことが増えている。
- ④卒業生の学校への連絡・訪問が、以前よりも減少し、卒業生との交流が減少しているように思われる。卒業後に転職した場合は、状況把握が困難となってしまう。

(3) 今後の改善方策

- ②学生の学習能力差に対応し、可能な限り個別に対応できる体制を整える。
- ③留年者や退学者を減らすため、クラス担任と学生との個別相談、保護者を交えた三者面談を実施し、問題が生じるのを未然に防ぐ。また、クラス担任以外の教員も参加し、相談しやすい環境をつくる。
- ④卒業後も密に連絡を取れるホームページの開設、在校生と卒業生が交流できる機会を増やすことにより、卒業生との繋がりをもち活躍を把握する。

5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不十分… 2、不十分… 1			
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
②学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
⑦保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
⑧卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
⑩高等学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

(1) 実施状況

- ①進路では、他学科への入学に際し入学金免除・減免を行っている。就職では、厚生労働省認可の「無料職業紹介所」として登録し、求人票の掲示や個別相談を中心に行っている。また、リモートによる企業説明会の実施や卒業生の体験談を聞く機会を設けるなどを含む支援を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、関係分野における業界説明は中止となった。
- ②学生相談窓口として、クラス担任を中心に面談などを通してサポートしている。
- ③学生に対する経済的な支援として、「学業奨励品制度」「授業料の分納」を学校独自に行っている。更に、文部科学省による「高等教育の修学支援制度（給付）」・独立行政法人日本学生支援機構による奨学金（給付型・貸与型）・日本政策金融公庫や信販会社による教育ローンの相談や事務手続きなどを行っている。また、国民年金保険料学生納付の特例申請について日本年金機構の事務法人となり、学生に便宜を図っている。社会人向け入学者の専門実践教育給付制度の対象として、鍼灸マッサージ東洋医療科が厚生労働省から指定されている。本年は53名が教育訓練支援給付（3年間120万円、卒業後を含めて168万円）を受けている。
- ④学生の健康管理のため毎年4月に健康診断を実施し、必要に応じて担任が個別相談・再検査の指導を行っている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、毎日の検温・体調確認などで健康管理を実施している。
- ⑤課外活動に対して、参加者に対する助成（業界団体主催の講習会、（公社）全国柔道整復学校協会主催全国柔道大会、（公社）東洋療法学校協会学術大会等）、ボランティア活動、学友会の下部組織として各クラブ活動を毎年支援しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。日本赤十字社宮城県支部の公認奉仕団である赤門青年手技医療赤十字奉仕団の献血活動については実施の支援を行った。

- ⑥学生の生活環境の支援として、通学や臨床実習への交通の利便性向上のため、青葉山本校舎⇄青葉山駅間、青葉山本校舎⇄国分町校舎間のスクールバスを運行している。遠隔地から就学している学生のために、学校が直接運営管理している学生寮1棟（男子寮：定員43名）を学校から徒歩3分の場所に設置し、職員（寮監）の指導を受けている。また、無人コンビニによる飲食品の提供や弁当屋による校内販売を行い、休憩ラウンジ（2階）の設置などで学生の利便性に供している。
- ⑦保護者との連携として、成績表を半期ごとに保護者（保証人）へ郵送し、必要に応じて保護者との三者面談を実施して学力及び生活の強化を図っている。
- ⑧卒業生への支援体制として、鍼灸師・按摩マッサージ指圧師の資格取得者でより高度な専門知識と臨床能力を希望する者への卒業後教育機関・制度として、附属治療所（国分町校舎）における臨床研修制度（1年制）がある。また、毎年5月の同窓会主催研修会では、卒業生（同窓生）が在校生とともに受講しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。国家試験不合格者への対応として、国家試験受験に向けた卒業生聴講制度、国家試験対策の各種試験を行い、学業進展度の指導を行っている。
- ⑨社会人への対応として、仕事をしていると昼間は通えない人のため、働きながらも通える鍼灸科第二部（夜間部）を開設している。
- ⑩高等学校等との連携として、職業理解のための模擬授業や職業紹介を各高校に赴いて実施している。

(2) 課題

- ⑤ボランティア課外活動への参加者減少は、ボランティア課外活動への興味の低下、又は新型コロナウイルス感染症の影響によるボランティア課外活動行事の減少が考えられる。

(3) 今後の改善方策

- ⑤次年度は、新型コロナウイルス感染症対策に注意しながらボランティア課外活動を実施する。学生に対して、ボランティア課外活動の実施と内容を積極的にアピールする。

6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
②学内外の臨床実習施設、インターンシップ等について教育体制を整備しているか	④	3	2	1
③防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

(1) 実施状況

- ①本校施設は、設置基準に定められている普通教室・実技実習室・柔道場・図書室などについて教育上の必要性に対応できるように整備している。普通教室には液晶プロジェクター・DVD再生機、大教室にはワイヤレスマイクを含む音響設備・骨格模型などを設置、図書室（蔵書4396冊登録）には、学習スペースや学生用PCを設置、柔道場（102畳及び床スペース、ロッカールーム）には、冷暖房、シャワー設備、トレーニング機器を設置し、授業科目の「柔道」だけでなく、健康維持増進のため利用されている。また、コロナウイルス感染症対策として消毒設備の導入やリモート授業への対応として、wi-fi設備・大型モニター・クロームブック・ウェブカメラを導入した。
- ②附属治療所は本校舎のほか、仙台市中心部の国分町校舎にも大規模な治療所を設置し、東洋医学臨床治療所（治療ベッドブースは20個所）として、数多くの患者を受け入れ実践的な実技指導が行われているが、コロナウイルス感染症拡大の影響により規模を縮小して実施している。
- ③法令で定められている施設・設備については定期点検を実施し、災害時対応の「防災マニュアル」を整備・災害食（飲料水）の備蓄している。また、事務室内に救急救命のAEDを、校舎や学生寮に防犯装置を設置している。

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
③学納金は学生に対して良心的な額になっているか	④	3	2	1

(1) 実施状況

- ① (公社) 東洋療法学校協会及び (公社) 全国柔道整復学校協会の倫理規定に基づき、虚偽・誇大・誤解を受けるような広告を排除し募集活動を行っている。入学試験においては、学力考査 (国語)・適性検査・面接を実施している。入学要件、入試区分などを定め適切に運用し、入学試験委員会の入学選考会議で合否を確定している。入学辞退者に対する学納金返納の取り扱いについては、文部科学省及び最高裁判所の判例に基づいて募集要項に記載し適切に取り扱っている。
- ② 高校や各県会場にて開催される職業紹介と学校紹介には、東北地方の高校に赴き説明を行っている。
- 会場ガイダンス・校内ガイダンスへの参加実績 (模擬授業を含む)
 (宮城 53 回 山形 11 回 福島 18 回 秋田 7 回 岩手 4 回 青森 0 回 合計 93 回)
 (令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 31 回であった)
- オープンキャンパスを 10 回実施し、うち 8 回は土曜日の昼に、2 回は社会人が来校しやすいように夜間に開催した。(令和 3 年度来校人数 105 名) (令和 2 年度は 105 名)
- 2 回以上参加している方への受験料減免・学業奨励品制度は継続している。
- オープンキャンパスに参加できない人に対しては、学校説明会を随時受付している。
- 卒業生の実績・在校生の修学の実績 (国家試験など) などの教育成果は、ホームページや進路ガイダンス、高等学校訪問を通して情報を発信している。
- ③ 当校の学納金は学科別で、鍼灸マッサージ東洋医療科が卒業までの 3 年間で 380 万円、鍼灸医療科第二部が 309 万円である。鍼灸マッサージ東洋医療科と鍼灸医療科第二部について卒業までの 3 学年間で見ると、他校では 100 万円以上のひらきがあるが、当校では 71 万円の差にとどまり、柔道整復医療科は 329 万円で、全国的に見ても低額となっている。

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
③財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
④財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

(1) 実施状況

- ①入学者の減少により、学納金収入が減少している。
- ②法令で鍼灸師等の教員でも担当できる授業科目については、臨床教育専攻科卒業の教員を担当させることで経営の効率化を図っている。
- ③会計監査を公正・適正に行い、ホームページで情報公開している。
- ④財務情報をホームページで随時公開している。

(2) 課題

- ①設置学科を選択して集中させたが、柔道整復医療科、鍼灸医療科第二部の入学者状況が難しい状況である。
- ②予算の人件費比率が高い状況である。

(3) 今後の改善方策

- ①財務基盤安定のためには入学者の増加が必須であるため、学生募集活動を積極的に行い受験生のニーズに応えられるようにする。近年は、社会人経験の学生が増加傾向であることから、社会人に向けての優遇措置も検討する。また、受け入れ校となっている高等教育等の修学支援制度について、高校生に向けて周知徹底する。
- ②非常勤講師が行う専門基礎科目及び専門科目は、予算の人件費比率を適正にするため改善する。

9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
④自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

(1) 実施状況

- ①学校教育法専修学校設置基準、あん摩マッサージ指圧師はり師きゆう師学校養成施設認定規則、柔道整復師学校養成施設指定規則等に基づき、学則変更などの手続きを適正に行っている。また、大学設置基準に基づいて単位数・講義等は定められているが、年間講義の回数に定期試験を含めることができないことになっているので、当校では、これを遵守して年間講義(30回)＋定期試験(2回)で実施している。
- ②個人情報に関しては、個人情報保護法に基づき個人情報保護方針を定め、その保護に努めている。
- ③学校自己評価並びに学校関係者評価を毎年実施して、結果に基づき課題の改善に取り組んでいる。
- ④学校自己評価の結果をホームページに随時公開している。

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
②学校の特質に応じた社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
③学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1

(1) 実施状況

①社会貢献・地域貢献の観点から本校舎と附属治療所（国分町校舎）を活用して、学生による学友会が企画・運営する学園祭（赤門祭）を支援しているが、本年度もコロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

②医療系専門学校としての社会貢献・地域貢献として、日本赤十字社宮城県支部および東北大学白菊会（解剖実習の篤志献体の団体）へ協力金を拠出し、その活動を支援した。

③医療人になる者はボランティア精神が特に必要であるとの認識から当校では学生のボランティア活動を奨励している。学生ボランティア団体として「赤門青年手技医療赤十字奉仕団」（日本赤十字社宮城県支部公認）が、校内献血（年2回）や学外における献血の補助（富谷市・名取市の大型商業施設で各1回）、救急救命法講習会（年1回）などの奉仕活動を行っており、その活動を支援している。

外部から学生にボランティアの要請があるときは周知・斡旋を行い、教員の引率などの支援を行っているが、本年度はコロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

（コロナウイルス感染症の影響を受けていない直近の令和元年度では、スポーツボランティアに11回、災害ボランティアに5回参加）

※ボランティア活動においては別紙参照

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

11) 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1
②留学生を学内でサポートできる体制が整備されているか	4	③	2	1

(1) 実施状況

- ①留学生の受入れについては、関係法令に基づき適切な手続きを行う体制を整え、今年度は韓国籍の留学生を受入れた。留学生の受入れ実績は、これまでアメリカ・アルゼンチン・グアテマラ：各1人、ボリビア：2人、韓国：3人、台湾：4人、中国：5人などである。
- ②外国人留学生の免許取得後、国内外での勤務・開業に当って相談・支援をしている。

(2) 課題

- ②留学生においては、医療用語や漢字に不慣れな点が学習成果に繋がりにくいことがある。

(3) 今後の改善方策

- ②学習の課題となっている点を把握し、個別対応する。国内外で勤務・開業に当って外部業界団体と連携し、留学生の相談・支援を強化していく。

※別紙

・コロナウイルス感染症直前のボランティア活動実績（令和元年度）

【スポーツボランティア系】

- 04月29日 … 郡山シティーマラソン(福島県鍼灸師会)
学生：03名、教員：1名、患者：未集計
- 05月12日 … 仙台国際ハーフマラソン(宮城県鍼灸師会)
学生：12名、教員：3名、患者：約50名
- 07月07日 … バレーボール大会（仙台市学区民体育振興会連合会）
学生：18名、教員：6名、患者：100名
- 08月25日 … ソフトボール大会（仙台市学区民体育振興会連合会）
学生：14名、教員：5名、患者：73名
- 08月31日(PM)/09月01日(AM～) … リレー・フォー・ライフ
学生：15名、教員：5名、患者：46名
- 10月20日 … ニュースポーツ・グラウンドゴルフ（仙台市学区民体育振興会連合会）
学生：12名、教員：2名、患者：41名
- 11月03日 … ひとめぼれマラソン(宮城県鍼灸師会)
学生：13名、教員：2名、患者：72名
- 11月10日 … バドミントン大会（仙台市学区民体育振興会連合会）
学生：23名、教員：5名、患者：54名
- 12月01日 … 卓球大会（仙台市学区民体育振興会連合会）
学生：54名、教員：5名、患者：64名
- 02月23日 … グラウンドゴルフ大会（仙台市学区民体育振興会連合会）
学生：19名、教員：3名、患者：53名

【災害鍼灸ボランティア】

- 11月17日 … 丸森町舘矢間小学校(宮城県鍼灸師会)
学生：1名、教員：2名、患者：09名
- 11月23日 … 丸森町舘矢間小学校(宮城県鍼灸師会)
学生：1名、教員：2名、患者：12名
- 12月08日 … 丸森町舘矢間小学校(宮城県鍼灸師会)
学生：2名、教員：2名、患者：10名
- 11月17日 … 宮城県大郷町フラップ21（災害鍼灸マッサージプロジェクト）
教員：1名、学生：0名、患者：15名
- 11月24日 … 宮城県大郷町フラップ21（災害鍼灸マッサージプロジェクト）
教員：1名、学生：2名、患者：22名

・ボランティア活動報告（当校ホームページより一部抜粋）

第43回仙台市学区民バドミントン大会にボランティアに参加しました！



2019年11月10日（日）に第43回仙台市学区民バドミントン大会に「専門学校学生による救護ボランティア」として参加しました。

この大会は仙台市学区民体育振興会連合会と仙台市スポーツ事業団で運営している大会です。

スポーツ大会の臨床実習の救護ボランティアとして教員と学生ではり治療、テーピング、ストレッチ、マッサージ、応急処置の対応などを行いました。

治療人数は54人と、今回もとても沢山の方を治療することができました。

学生は、学校の実技授業で勉強していることを確認しながら、問診し、一生懸命に治療を行いました。